

林業普及週間現地情報(3/7～3/11)

森林管理課

地域材の利活用に係る調整会議

3月11日(金)

令和4年3月9日、今帰仁村有林のクスノキ利活用に向けた2回目の調整会議を、今帰仁村役場で行った。

今回の取り組みの主目的は、村役場新庁舎建設の機会に、役場職員に地域の森林を再認識してもらい、立木の伐採から加工、製品作成までの木材の利活用の一連のノウハウを身につけてもらう。そして県としては木材の利活用モデルを構築し、地域での森林の利活用の機運を高めるところにある。

調整会議には、村の林務担当課及び新庁舎建設担当課を始め、沖縄北部森林組合、県の林業普及指導員が出席し、必要とする木材製品の確認、今後のスケジュールを話し合った。

新庁舎に必要な木材製品として、受付待合スペースのベンチ、交流スペースの机・椅子、三役応接室セット等が挙げられ、県からは伐採して製品作成までには、木材の乾燥期間が必要であることなどの説明を行った。

今後のスケジュールとして、新庁舎完成までに最低限必要な物品の確認、及びその優先順位、木材加工業者への立木伐採から製品完成までのスケジュール等の情報収集を行うとした。

今後も引き続き、具体的な事業化に向けて関係機関で調整を進め、県内での地域材利用のモデルとなるよう取り組んでいきたい。



(報告者：森林管理課 仲里、北部農林水産振興センター 玉城)